

春田産業・日本圧延・パナソニック

3社で水平リサイクル

アルミ材で

春田産業(本社・大阪市東成区、北村裕一社長)、日本圧延工業(本社・滋賀県東近江市、磯部正信社長)、パナソニックの3社は、アルミスクラップの水平リサイクルの共同事業を開始した。春田産業が製品納入とスクラップ回収を自社トラックで行い、日本圧延工業向けにリターンする。年間回収目標は40ト。

工程スクラップを循環

春田産業は伸銅品や軽圧品を扱う大手非鉄製品問屋。これまでは日本圧延工業が製造する純アルミ系のコイル材を在庫し、パナソニックエレクトロニクス社の照明器具製造の事業所向けに納入していた。同事業所で発生するアルミスクラップは外部業者に売却されていた。

3社はアルミスクラップの水平リサイクルによるCO₂排出量削減と物流合理化を検討。春田産業は伸銅品部門において削り粉スクラップのリターン材を自社倉庫経由で月間100ト程度扱っていた。

春田産業は伸銅品や軽圧品を扱う大手非鉄製品問屋。これまでは日本圧延工業が製造する純アルミ系のコイル材を在庫し、パナソニックエレクトロニクス社の照明器具製造の事業所向けに納入していた。同事業所で発生するアルミスクラップは外部業者に売却されていた。

アルミスクラップを用いた再生地金のCO₂排出削減量は、アルミ新地金と比べて97%、再生可能エネルギーで精錬されたグリーンアルミ地金と比べて92%削減できる。さらにスクラップを定期回収する輸送が省けるため、トラックの稼働率向上と物流合理化によるコストメリットが生まれる。CO₂排出量削減にも寄与できる。

アルミスクラップを用いた再生地金のCO₂排出削減量は、アルミ新地金と比べて97%、再生可能エネルギーで精錬されたグリーンアルミ地金と比べて92%削減できる。さらにスクラップを定期回収する輸送が省けるため、トラックの稼働率向上と物流合理化によるコストメリットが生まれる。CO₂排出量削減にも寄与できる。

アルミスクラップを用いた再生地金のCO₂排出削減量は、アルミ新地金と比べて97%、再生可能エネルギーで精錬されたグリーンアルミ地金と比べて92%削減できる。さらにスクラップを定期回収する輸送が省けるため、トラックの稼働率向上と物流合理化によるコストメリットが生まれる。CO₂排出量削減にも寄与できる。

アルミスクラップを用いた再生地金のCO₂排出削減量は、アルミ新地金と比べて97%、再生可能エネルギーで精錬されたグリーンアルミ地金と比べて92%削減できる。さらにスクラップを定期回収する輸送が省けるため、トラックの稼働率向上と物流合理化によるコストメリットが生まれる。CO₂排出量削減にも寄与できる。

流通問屋とメーカーの協業によるアルミ水平リサイクルは業界でも先駆的な取り組み。北村社長は「当社に原料扱いのノウハウがあり、自動トラック設備や自社トラックに余力を持っていたこと、リサイクルに強い日本圧延工業様の協力によって実現できた。今後、他の拠点や外注先、さらには他の材料メーカーからのスクラップ回収も検討していきたい」と取り組み拡大に意欲を見ている。

パナソニックグループでは調達先と連携した温室効果ガス削減、循環型モノづくり、コスト合理化の一体化を目指す取り組み「Eco-OVC」を展開。本作「アルミニウムスクラップ材のクローズドループリサイクルによるCO₂排出量の削減と合理化」において春田産業と日本圧延工業はパナソニックオペレーショナルエクセレンス社内の2025年度のEcoVC奨励賞を受賞し、今月5日に大阪市内で表彰式が行われた。